

物件取得13件275億円

不動産投資信託「J-REIT(リート)」

18年・東北 物流が住宅抜く

不動産投資信託「J-REIT(リート)」が2018年に取得した東北の物件数は13件、総額は275億8600万円だったことが、金融や不動産の

専門家らでつくるアセットブレインズ仙台ネットワーク(仙台市)のまとめで分かった。通信販売の普及で物流施設の需要が高く、累計額で初めて賃貸住宅を抜いた。

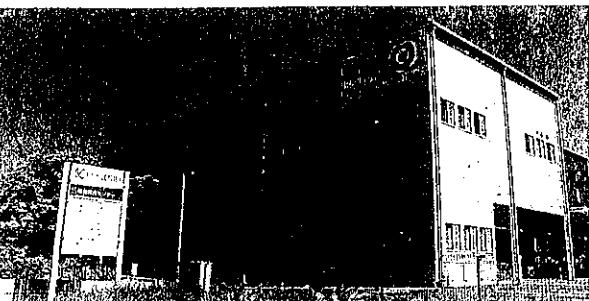
東北での取得件数と総額の推移はグラフの通り。県別内訳は宮城6件(176億3800万円)が最多で、福島2件(34億8500万円)、岩手2件(23億円)。青森(7億2300万円)、秋田(8億4000万円)、山形(6億円)は各1件だ

東北での取得件数と総額はじめ、物流施設の取引は3件あり、計114億8500万円と全体の4割を占めた。

訪日外国人旅行者の増加を背景にホテルの売買も相次ぎ、ホテルビズタ仙台(宮城野区)、取得額44億円)、アートホテル弘前シティ(弘前市)、コンフォートホテル北上(北上市)、8億2000万円)が取引された。

最高額の73億円で大和ハウスリート投資法人(東京)が取得したDプロジェクトが仙台泉II(仙台市泉区)を

73億円で取得されたDプロジェクト仙台泉II(仙台市泉区)



計は137件、32244億6700万円。用途別ではオフィスビルが24件(1040億600万円)で最多

だった。物流は18件(569億6500万円)に上積

みられ、総額で住宅(54件、544億8500万円)を

抜いた。

アセットブレインズの佐々木正之事務局長は「不動産投資市場は高止まり。証券化していない大型物件も

多く、今後も旺盛な取引が続くだろう」と話す。

J-REITは、東京証券取引所の上場銘柄。

18年末現在で61に上る。不動産会社や商社による投資法人が賃料などの収益を投資家の

への利回りに充てる。初上場した01年からの累計物件数は18年末現在で3900件、資産総額は17兆977億円に上る。

